

2023 年度第 1 回理事会 2022 年度 法人事業報告

1 理事会・評議員会について

理事会は 4 回、評議員会は 2 回開催し、事業報告、決算報告、事業計画、予算について討議するとともに、就業規則や各規程の改正などについて提案し、審議いただきました。法人全体の経営、運営体制は概ね順調に推移してきましたが、さらなる安定的な運営に向け引き続き充実を目指していきます。

【開催の経過】

第 1 回理事会	5 月 27 日	事業報告、決算報告
第 2 回理事会	9 月 16 日	事業進捗報告
第 3 回理事会	11 月 24 日	予算の考え方、次年度事業の方向性
第 4 回理事会	3 月 2 日	予算案、事業計画案、就業規則・諸規定の改正 今人の移転
定時評議員会	6 月 18 日	事業報告、決算報告
臨時評議員会	3 月 17 日	予算案、事業計画案、就業規則・諸規定の改正 今人の移転

2 法人内管理運営体制について

法人内においては、新型コロナウイルス感染の状況により途中休会もありましたが、理事三役会議、管理者会議、GH 常勤会議は月 1 回、日中管理者会議、法人事務会議を適宜開催し、事業計画、事業報告、人事、決算、予算、利用者の支援内容、職務体制、人材確保の問題、事業所の管理運営など話し合い、会議内容の充実を含め取り組んできました。年度当初から専従常勤理事を配置するとともに、業務執行理事を複数とし、議事運営や法人運営の充実を図りました。

3 役員体制及び職場人事体制

2021 年度の役員改選は、2016 年 10 月の社会福祉法改正、2017 年 4 月法施行後からはじめての理事、評議員、監事の一齐改選となりましたが、各位のご協力により、今期は順調に体制が整い運営が行われました。職場体制では、管理者、サービス管理責任者の確保が未だ不十分であり、資格取得と職員育成を念頭において研修の実施、派遣研修への参加などを進めてきました。

全体の職員体制では、日中事業所は勤続 5 年以下が過半数を占め、支援管理業務は不十分な点が多く、スキルアップを目指すことが必要であり、同時に各事業所の人材確保を進めることも課題となっています。

4 主な業務報告

- (1) 各事業体は別添
- (2) グループホームの移転計画

4 年前から、今人の移転が議論されてきました。理由は、使用道路が狭く、駐車スペースとなどであり、この間、物件を探し、横浜市及び業者とも話し合ってきましたが、本年 1 月下旬に業者から紹介があった物件（保土ヶ谷区峰沢町）を候補地とすることについて、理事会・評議員会で承認をいただき、以後、賃借契約締結を前提として条件等調整を進めています。

(3) 新型コロナウイルス感染症の対応

感染予防対策として、マスク着用、消毒、手洗い、うがい、換気など基本的な対策の他、初動での抗原検査キットによる検査や PCR 検査、自宅待機など感染が広がらないための対策を講じましたが、全国的な感染流行の中、昨年度に引き続いて、各日中事業所、グループホームの利用者・職員、法人事務局職員についても感染者が発生しました。幸い重症者は出ませんでした。事業所の一時閉鎖、業務の縮小などを余儀なくされました。このような中、法人として、グループホームと日中事業所の協力体制を検討するなど、災害時を含めて、今後の体制の構築を進めました。

(4) 規則・規程の見直し

就業規則（常勤・非常勤）や、育児・介護休業規程等の見直し、改正を進め、また、ハラスメント防止について通知するなど、職員の働きやすい環境整備とともに、時勢に適った法的体制を構築していきました。

5 利用者、保護者、家族及び地域社会から信頼される運営

(1) 利用者・保護者・家族

2022 年も新型コロナウイルス感染が収束せず、利用者・保護者の皆さんに感染防止対策への協力をお願いを数度発信しました。感染拡大の中、執行体制に苦慮をしながら、今後の災害及び感染症対策への課題を抽出しました。利用者間の交流や保護者との行事及び懇談会も実施していくのが困難でしたが、感染の状況を見ながら、グループホームでは日帰旅行、忘年会の実施、日中事業所もクリスマス会や余暇活動などを出来る範囲内で開催するなど、コロナ後の新たな段階を見据えた 1 年となりました。今後保護者会の開催に向け調整を進めていきます。

(2) 地域貢献・交流活動

地域においても、新型コロナ感染症の影響で法人として参加していた行事や防災訓練などは引き続き中止となりました。

そのような中、復活した馬車道まつりに参加したり、広報誌に地元自治会長のインタビュー記事を掲載したりするなど、今後の交流へ繋げる活動を進めました。

6 研修

懸案となっていた新人、管理者・中堅研修を、各 1 回ずつ開催しました。そのほか派遣研修や、web を利用したオンライン研修については、各事業所、法人事務局から積極的に参加することができました。また、サービス管理責任者養成研修に該当者の参加を得ることができました。

7 広報

法人広報、日中保護者会広報誌をそれぞれ年 4 回発行し、保護者、地域に配布いたしました。

2022年度ハートランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

新型コロナウイルス感染症のクラスターが8月にあり、半月ほど通所のご利用者が3分の1程になりましたが、それ以外は感染症による影響はあまりなく運営することができました。

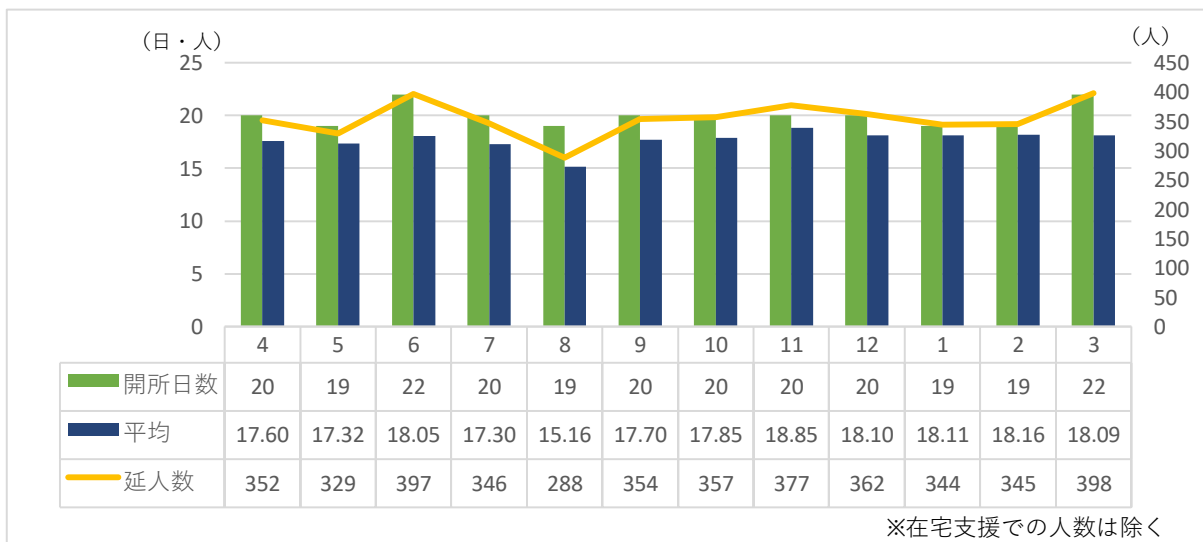
ご利用者の増減については1名のご利用者のご家庭の都合で長期的に利用を見送ることになりましたが、GHれいんぼうのご利用者1名が10月から入所され、2023年4月に養護学校を卒業する方1名の利用も決まりました。

作業と工賃に関して、2022年度に新たに始まった「のげちかマルシェ」の自主製品販売活動に3回参加したことや、今までのバスターミナルや区内2カ所の清掃の他に、盲学校のプール清掃、小学校のエアコン清掃も行い、工賃支給の月額平均もここ5年間で過去最高となり、120万を超える工賃の支給を行うことができました。

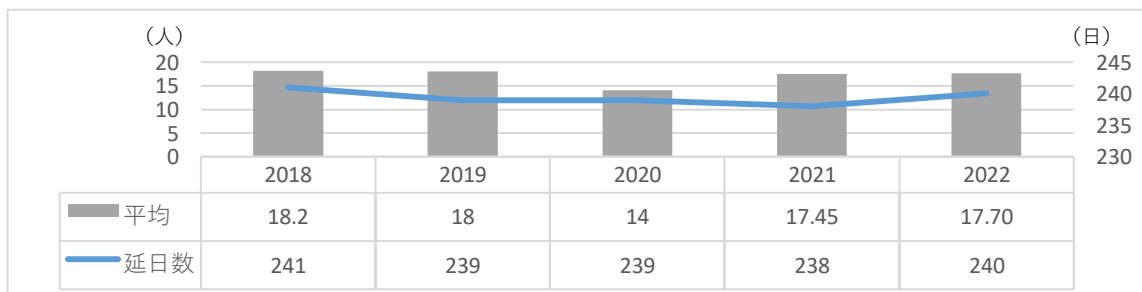
管理者変更に伴い、改めてソフト・ハードの両面から見直しを行いました。週に一度、定例で職員会議を行い利用者の支援について定期的に振り返りや検討を行うようにし、個々に合わせて徐々にレイアウト変更を進めています。また、支援内容の見直しを行う中で通所の頻度が少なくなっていた2名のご利用者について昨年後半には概ね安定して通所をすることができるようになり、短時間しか滞在できなくなっていた1名のご利用者については、ご本人と目標を決めて昨年夏頃から取り組みを行い、今年度末時点で遅刻なく半日事業所で過ごせるようになりました。

II 事業関係 実施期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日



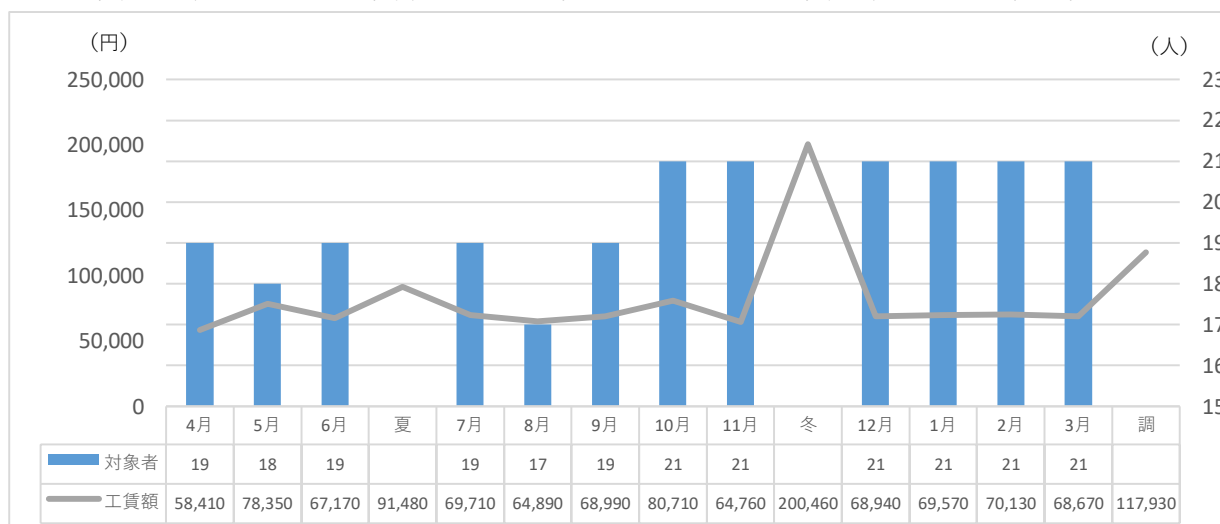
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

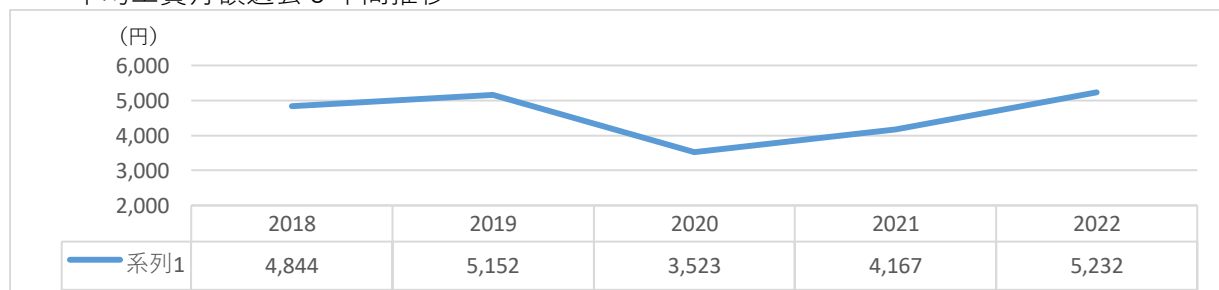
	行事内容	休日開所日・回数
4月		回
5月		回
6月		回
7月		回
8月	ふれあい作品展	回
9月		回
10月	きょうされん全国大会	回
11月		回
12月	障害者の集い（web）／クリスマス会（事業所内）	回
1月	初詣	回
2月		回
3月	年度末食事会	回

3 工賃支給額 平均工賃額 5,232 円 工賃総額 1,240,170 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : メール便配達、アクセサリパーツ封入・製作 他
- ② 自主製品 : 革製品、ビーズ製品他
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : 区役所、ともしびショップ、三ツ沢・片倉ケアプラザ等のげのちかみち
- ④ 委託作業 : 片倉町バス停清掃・鶴屋町清掃・金港町清掃

5 利用者関係 ※2023年3月31日付

入所 1名

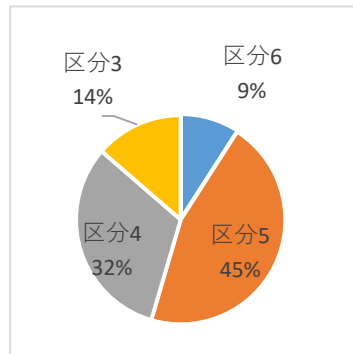
退所 0名 ※通所休止中：1名

定員 20名 現員 22名

平均年齢 44歳

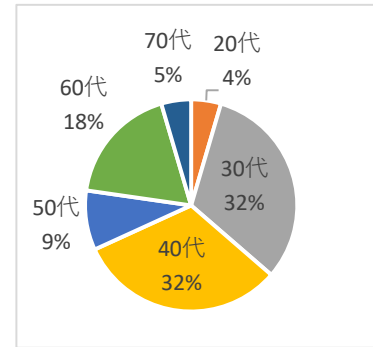
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	1	1	2
区分5	8	2	10
区分4	7	0	7
区分3	1	2	3
区分2	0	0	0



年齢

年齢	人数
10代	0
20代	1
30代	7
40代	7
50代	2
60代	4
70代	1

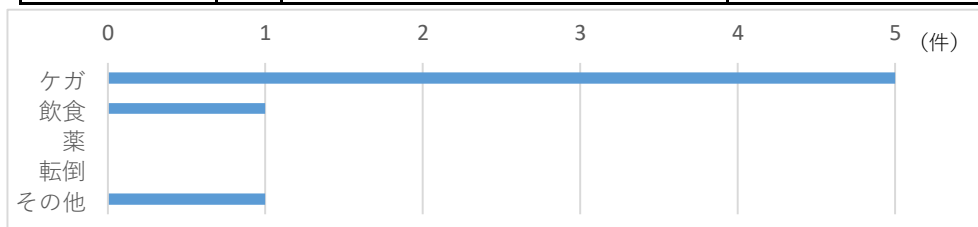


ヒヤリハット報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

件数 7件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	5	怪我には至らない転倒や衝突	安全に移動できる環境を整える
飲食	1	アレルギー食材の除去忘れ	事前に献立に印を付け見落としがないようにする
薬			
転倒			
その他	1	赤信号の見落とし	体調を整え、集中できる状態で運転する



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	3	3	
看護師		1	

採用 1名 有期雇用職員男性1名

退職 0名

異動 0名

研修実績 延 70名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

- 主な研修
- ・サービス管理責任者研修
 - ・強度行動障害支援者養成研修
 - ・福祉職員キャリアパス研修
 - ・自立支援協議会研修
 - ・管理者研修
 - ・法人内研修（新人・中堅）
 - ・web研修「サポーターズカレッジ」

Ⅲ 2022年度事業を振り返って

1. 利用者支援

- ・看護師と嘱託医協力の下、ご利用者の健康面について管理・相談等を実施しました。
- ・昨年度同様、元美術教師の方に工芸ボランティアを依頼し、月2回絵画などの製作活動を行いました。
- ・引き続きコロナ対応として手洗い、マスクの徹底を行いました。
- ・発達障害者支援センターに定期コンサルのもと、各ご利用者の支援を行うことで通所日数・通所時間の増加、問題行動の減少などの成果が得られています。
- ・ご利用者主体の余暇活動として、園芸クラブの活動を開始しました。

2. 地域交流

- ・沢渡ケアプラで地域の方との交流（こもればカフェ）を行いました。
- ・片倉・沢渡両ケアプラザ、ともしびショップにて自主製品販売を行って頂きました。
- ・ハート、ネバー、トロワの法人内事業所でポッチャ大会を開催しました。

3. 危機管理・環境整備

- ・衛生面や支援環境の向上のため、事業所内の環境整備を随時実施しました。
- ・体力維持や余暇支援の強化のため第一興商のカラオケ機のお試しを1ヶ月行いましたが、金額面や内容等総合的に判断し、今回は見送りとなりました。

4. 人材配置・研修計画

- ・5月に男性非常勤職員1名を採用しました。
- ・規制緩和によりオンラインの研修だけでなく、対面での研修の受講も行うことができました。自立支援協議会の虐待防止研修の際には、オンラインの利点を生かし、ほとんどの常勤非常勤が参加をすることができました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・1名のご利用者がご家庭の都合で長期的に利用を見送ることになりましたが、養護学校から2名の実習生を受け入れ、うち一名が2023年度から新規利用することに決まりました。また、週2回の利用をされていた2名の利用者について、通所の頻度が少なくなりましたが、現在は概ね安定して通所をすることができるようになりました。

2022年度トロワランド事業報告（生活介護事業）

I 事業概況

2022年度も新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、閉所となった期間がありました。また、その後も感染の広がりはなかったものの何度か感染者が出て、ご利用者には不安な日々となってしまいました。

作業に関してはコロナ前の水準まで戻り、安定して作業に取り組むことができましたが、自主製品はほとんど売れない状況でした。外の作業である区役所花壇が市から予算下りず2022年度で廃止となり、新横浜駅バス停掃除も同区の事業所が担当することとなったため次年度からは外れる事となりました。数年培ってきた清掃作業の技術は次年度団地の管理業務として請負、生かせることとなりました。

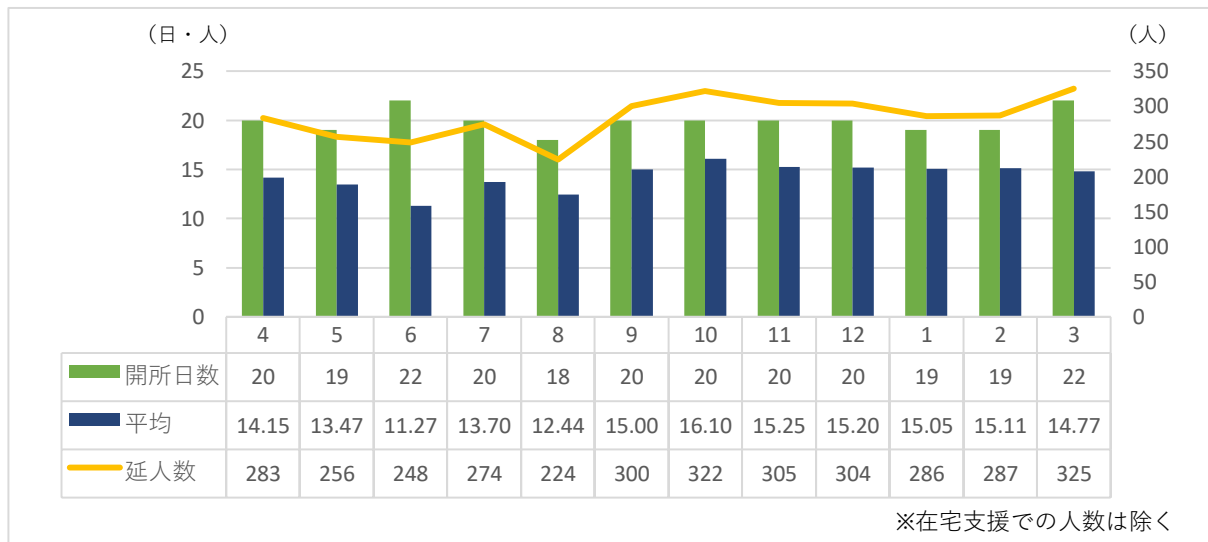
横浜国立大学生が行っている「アグリッジプロジェクト」に協力。2022年度は廃棄するビールの搾りかすを活用し、犬用のおやつ「モルチキ」を販売しました。

社会福祉士を目指す学生の受け入れを1名行い、この春無事社会福祉士資格を得ることができたという報告を頂きました。

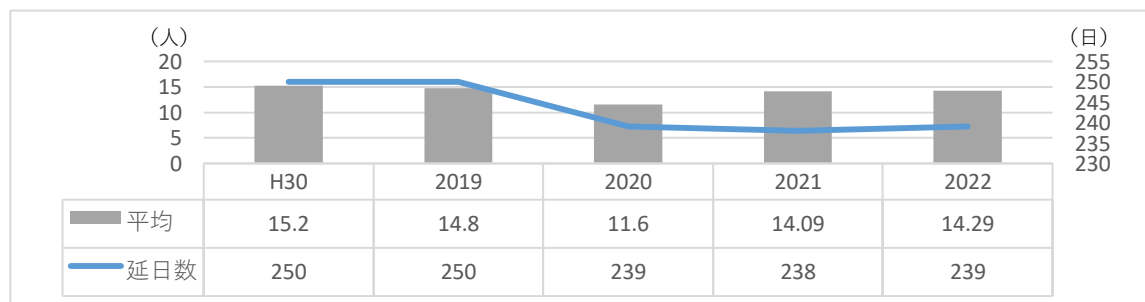
感染症の落ち着き、政府の緩和策の動向を見ながら3月に日帰り旅行を実施しました。食事と入浴を楽しみました。

II 事業関係 実施期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 239 日



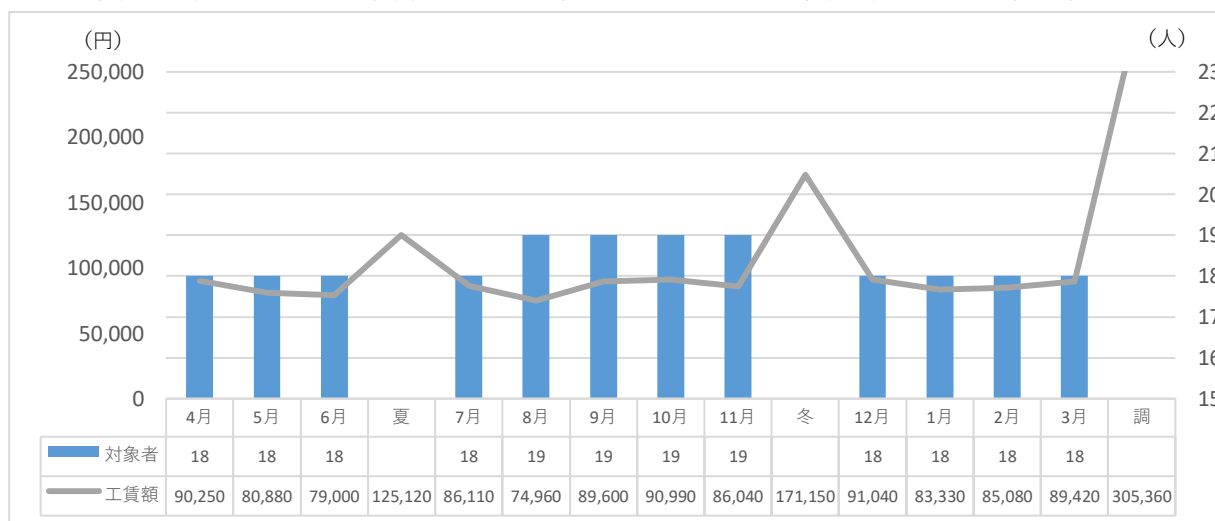
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

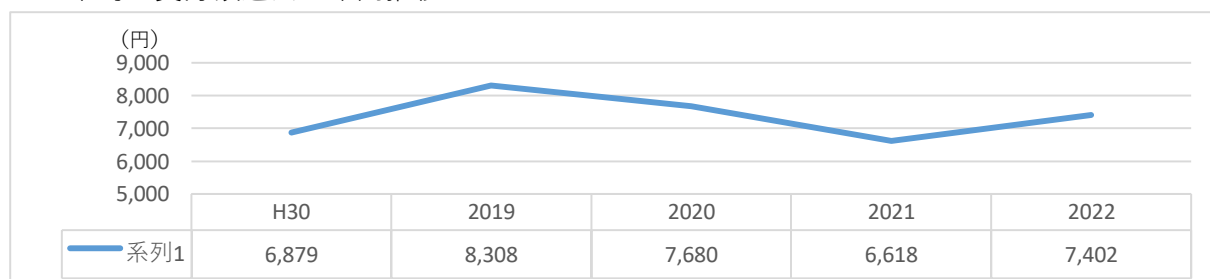
	行事内容	休日開所日・回数	
4月			回
5月	D-1グランプリ（web）		回
6月			回
7月			回
8月			回
9月			回
10月	馬車道まつり		回
11月			回
12月	障害福祉の未来を考える集い（Web）・クリスマス会		回
1月			回
2月			回
3月	かなフェス／年度末食事会（日帰り入浴&食事）		回

3 工賃支給額 平均工賃額 7,402 円 工賃総額 1,628,330 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : ペン、電子部品の組立他
- ② 自主製品 : 犬用ジャーキー、絞り染め製品、他
- ③ 販売活動 : 野菜・自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : トロワワゴン、地域ケアプラザ
- ④ 委託作業 : 区役所花壇整備、新横浜バス停掃除

5 利用者関係 ※2023年 3月31日付

入所 1名

退所 0名

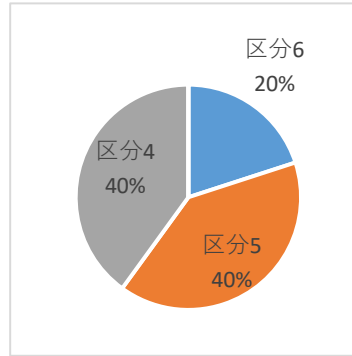
定員 20名

現員 20名

平均年齢 35歳

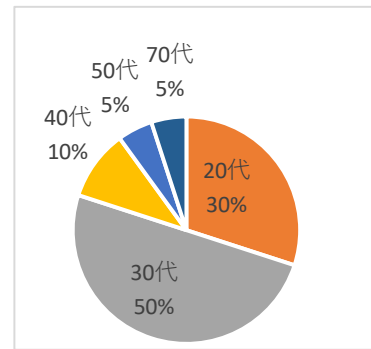
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	3	1	4
区分5	6	2	8
区分4	5	3	8
区分3	0	0	0
区分2	0	0	0



年齢

年齢	人数
10代	
20代	6
30代	10
40代	2
50代	1
60代	
70代	1

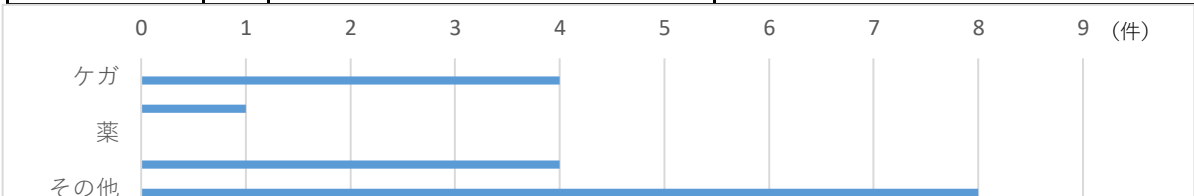


ヒヤリハット報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

延件数 17件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	4	転倒	転倒の原因になったものの除去
飲食	1	食中毒の可能性	通年通して弁当などは冷蔵庫保管
薬			
作業	4	指示書の確認ミス	複数の職員でチェックを行う
その他	8	一時的な行方不明	迎えの確認、同行時目を離さない



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
生活支援員	3	3	
看護師		1	
調理員		1	生活支援員兼務

採用 1名 常勤職員男性1名

退職 0名

異動 0名

研修実績 延 35名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

- 主な研修
- ・web研修「サポーターズカレッジ」
 - ・法人研修（新人・中堅・管理者）
 - ・きょうされん全国大会
 - ・サービス管理責任者補足更新研修

III 2022年度事業を振り返って

1. 利用者への支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めました。
- ・3事業所合同ボッチャ大会の開催、3年ぶりの日帰り旅行を執り行いました。きょうされんのオンラインイベントなど積極的に参加しました。
- ・嘱託医へコロナ対応やてんかん発作のある方への対応について相談しました。
- ・記録の中に動画や画像を取り入れるなど記録の充実を図りました。
- ・自主製品は横ばいでしたが清掃作業など取り入れ平均工賃月額は前年度を上回ることができました。

2. 地域交流

- ・感染症拡大により地域の祭事が中止が相次ぎましたが後半復調の兆しが見え、地域交流も徐々に増えてきています。
- ・ZOOMやLINE、こまめな電話連絡により地域事業所との交流は継続しています。
- ・横浜国立大学アグリッジプロジェクトと協働しビールの搾りかすを使用した製品（モルチキ）を作成しました。通常の製品として販売中です。

3. 危機管理環境整備

- ・BCPや感染症業務継続マニュアルの整備を行いました。

4. 人材配置・研修計画

- ・社会福祉士実習機関として1名実習生の受入を行いました。実習生へのミニ研修を行う際、新入職の職員にも一緒に受講して頂いた。
- ・常勤職員1名を採用しました。
- ・法人内研修、区作連研修へ積極的に参加しました。社会福祉士実習受入れ時のミニ研修に新人職員も参加しました。また、ケース会議の場に後進職員を同席させOJTを行いました。

5. 経費の効率化・運営収入の確保

- ・年度途中にご利用者1名受け入れをしましたが、継続は難しく通所を断念しています。

2022年度ネバーランド事業報告（就労継続支援B型事業）

I 事業概況

2022年度も感染拡大はなかったものの新型コロナウイルス感染症への対応が続いた1年でした。ご利用者も移転先での活動に慣れ、コロナ禍で制限がありながらも自主製品やカフェ運営等の活動が出来ております。

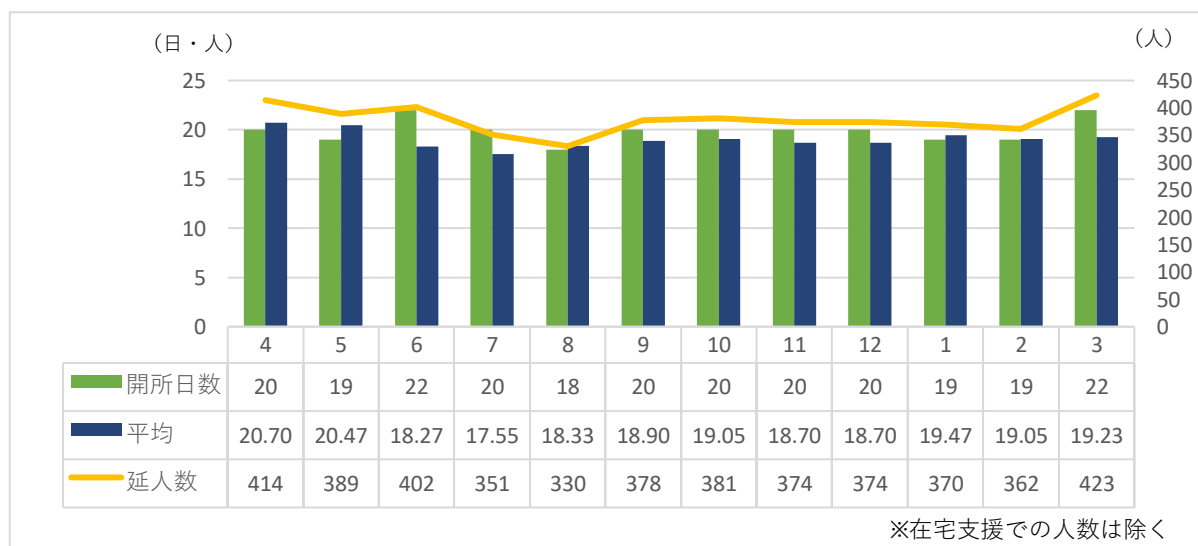
新規ご利用者2名が加わり、にぎやかなスタートとなりました。

自主製品に関して後半販売の場が復活し始めたこと、大口のご注文を頂いたこともあり売り上げが伸び、ようやく昨年度を上回ることが出来ました。

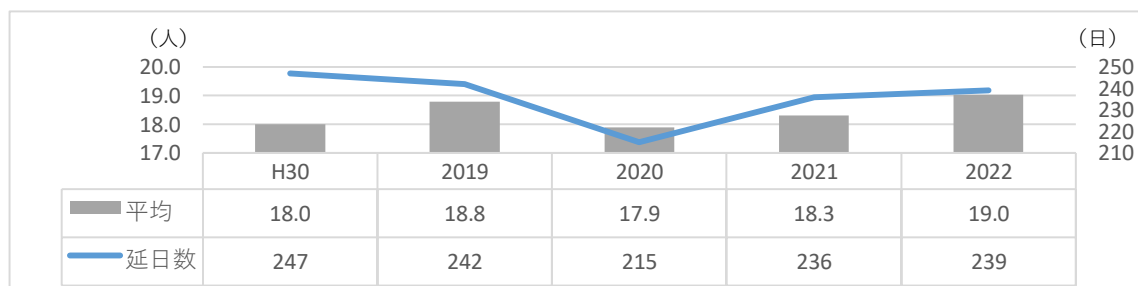
コロナ禍でもご利用者に楽しんで頂けるイベントを考え、日々の生活の中に自転車屋縄跳びなどを取り入れたり、ネバーランドで夏祭りを開催するなどご利用者に楽しんで頂けるようなイベントを行いました。

II 事業関係 実施期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 239 日



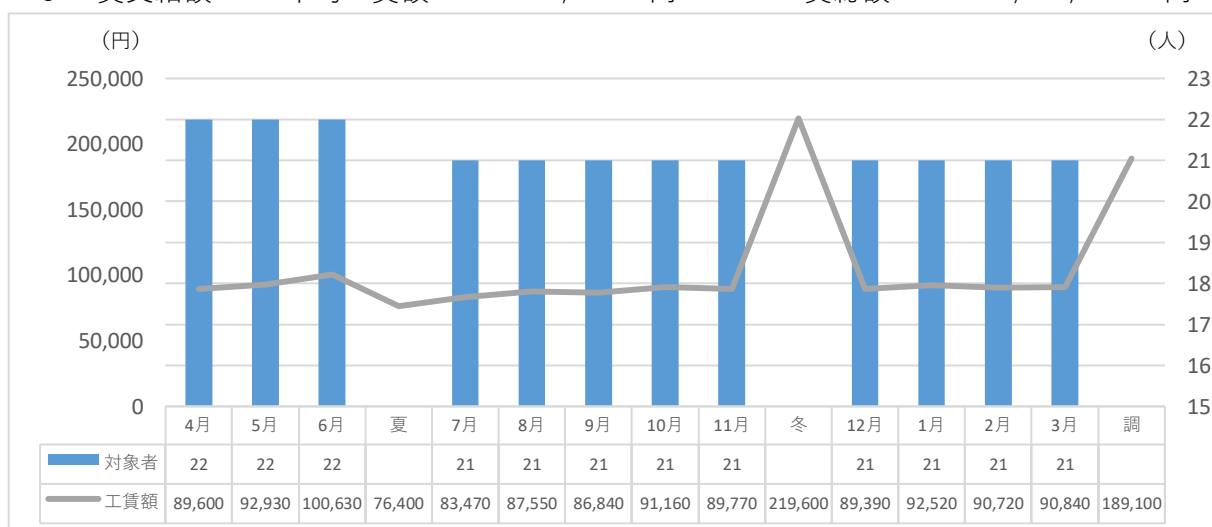
延日数と平均利用実績過去5年間推移



2 行事報告（休日開所含む）

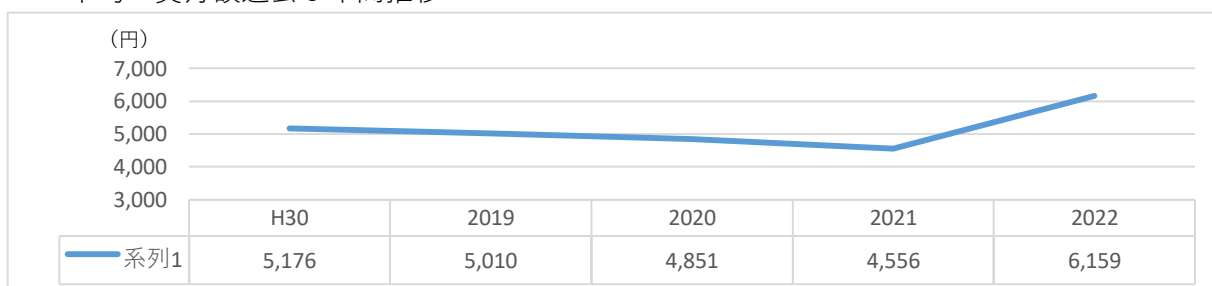
	事内容	休日開所日・回数
4月	入所式	0回
5月		0回
6月		0回
7月		0回
8月	ネバーランド夏祭り	0回
9月		0回
10月		0回
11月		0回
12月	クリスマス会	0回
1月		0回
2月		0回
3月	送別会（お茶会）	0回

3 工賃支給額 平均工賃額 6,159 円 工賃総額 1,570,520 円



※夏、冬、調とは夏季賞与、冬季賞与、調整金の略

平均工賃月額過去5年間推移



4 作業内容

- ① 受注作業 : 廃油ろ過材縫製
- ② 自主製品 : 菓子、餃子製造・知育玩具等の手芸品・古紙回収
- ③ 販売活動 : 自主製品販売、きょうされんカタログ販売
販売場所 : ネバーランドカフェ、受注生産
- ④ 委託作業 : 横浜市委託公園掃除、小学校清掃

5 利用者関係 ※2023年3月31日付

入所 2名

退所 1名

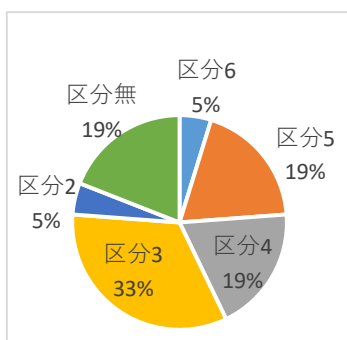
定員 20名

現員 21名

平均年齢 37歳

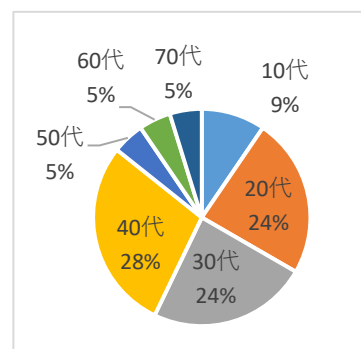
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	0	1	1
区分5	2	2	4
区分4	4	0	4
区分3	5	2	7
区分2	1	0	1
区分無	3	1	4



年齢

年齢	人数
10代	2
20代	5
30代	5
40代	6
50代	1
60代	1
70代	1

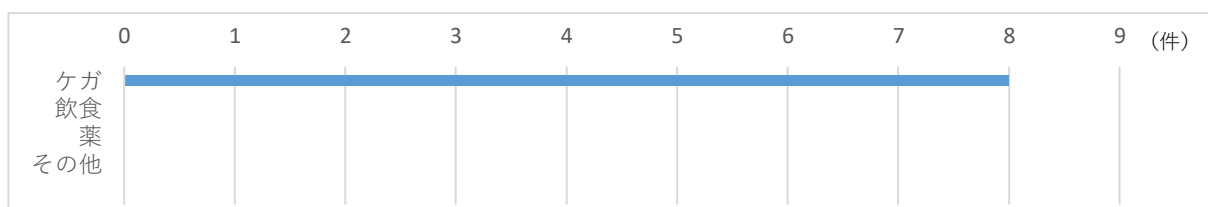


ヒヤリハット報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

件数 8件

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ	8	調理、片付け中手を切る	刃物の片付けは職員が行う
飲食			
薬			
その他			



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者	1		
サービス管理責任者	1		管理者兼務
職業指導員	1		
生活支援員	1	3	
目標工賃達成指導員	1		

採用 1名

退職 1名

異動 名

研修実績 延 20名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・法人内研修

・ウィリング横浜

・食品衛生、強度行動障害、サビ管更新

III 2022年度事業を振り返って

1.利用者への支援

- ・新規自主製品活動：餃子作りの研究は引き続き行い製品の質向上を目指しました。手芸の技術が向上してきたことをきっかけにミシン作業の受注に取り組み始めました。
- ・健康面：感染拡大対策を行いながら日々事業所内や事業所前などで筋トレや自転車、ネわ跳びなどの体を動かす活動に取り組みました。
- ・支援の輪作り：計画相談やC W等関係機関、発達障害者支援センターとも連携をとり支援を行いました。

2.地域交流

- ・カフェ「PPAINESS」を運営。コロナの影響で閉めてしまうこともあり、まだ安定した開店が難しい状況でした。その中でも少しずつ周知は進んできています。
- ・古紙回収：近隣店舗の回収を継続。口コミで広がりをみせています。

3.危機管理環境整備

- ・虐待防止防災時対策等：法人で虐待防止委員会の発足、BCPの整備も行われました。事業所内での活用が今後の課題となります。

4.人材配置・研修計画

- ・職員のキャリアにあった研修の受講、法人内研修等へ積極的に参加しました。

5.経費の効率化・運営収入の確保

- ・4月から2名新規ご利用者が利用を開始しました。1名退所者はありませんでしたが運営収入は増額しております。

6.その他

- ・カフェの集客に努めて来ましたがコロナ禍で閉店することも多く思うように周知が進まず次年度の課題となっています。焼き菓子では大口の注文も頂き、順調に進んでいます。

2022年度 共同生活援助事業報告

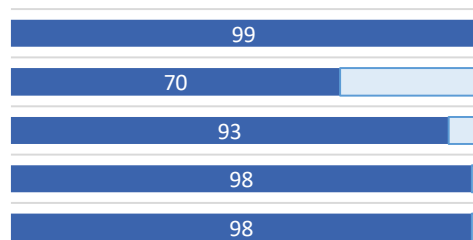
I 事業概況報告

- 1、新型コロナウイルス感染症について、社会情勢にあわせ、複数回に渡り文章にて入居者・保護者に説明と協力をお願いをいたしました。
- 2、外出自粛が続く中、利用者のストレス軽減のため、各住居ごとに出来る範囲での余暇活動支援をおこないました。
- 3、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を利用者の状況や意向に合わせて推進をし、申請、付き添いなどの支援をおこないました。
- 4、新型コロナウイルス感染者に感染した利用者の介護に、24時間体制、1ホーム2名の職員配置で2週間の対応をおこないました。
- 5、今人の移転委員会で、数回にわたり検討協議をおこないました。

II 事業関係 事業期間 2022年4月1日～2023年3月31日

1 利用実績

	性別	定員	稼働率
れいんぼう	男	8名	99%
はっぴー	女	8名	70%
今人	男	6名	93%
銀河	男	6名	98%
第二銀河	男	6名	98%



2 行事報告 (参加者数には支援者及びボランティアは含まない)

	行事内容	れ	は	今	銀	2	計
4月							名
5月							名
6月							名
7月							名
8月							名
9月	日帰り旅行	8	5	5	6	4	28名
10月							名
11月							名
12月	クリスマス&忘年会	8	7	6	6	6	33名
1月							名
2月	利用者部会	8	7	5	6	5	31名
3月	一泊旅行	8	4	5	6	4	27名

3 各ホーム外出行事

活動名	れ	は	今	銀	2	計
ホーム内食事会	8	7	5	6	5	31名
ホーム内カラオケ大会		7		6		13名
買い物外出	8	6	5	5	5	29名
ドライブ（公用車にて）	4	4	5	5	6	24名
						名
						名
						名
						名

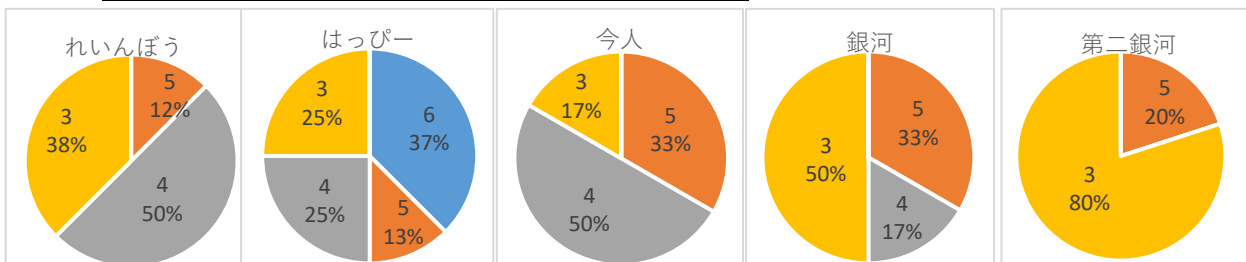
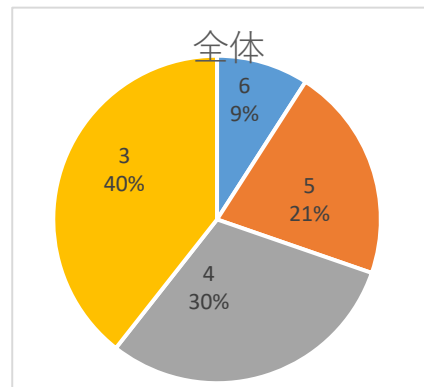
※ホーム内でアルコールを提供する食事会も含む

4 利用者関係 ※2023年3月31日付人員

入所 名 定員 34名
退所 1名 現員 33名

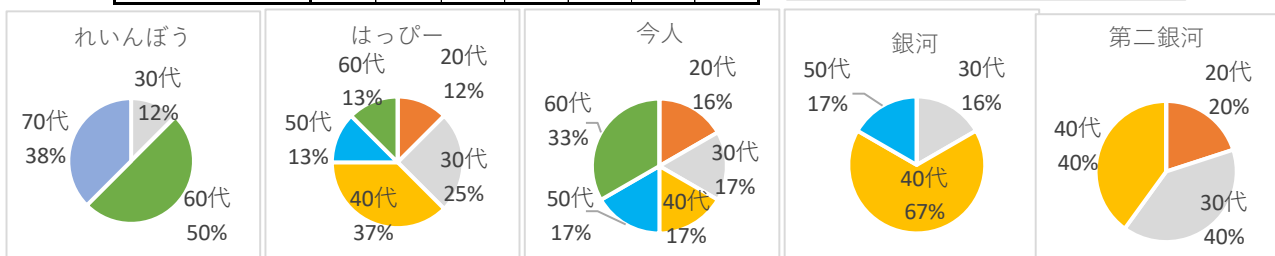
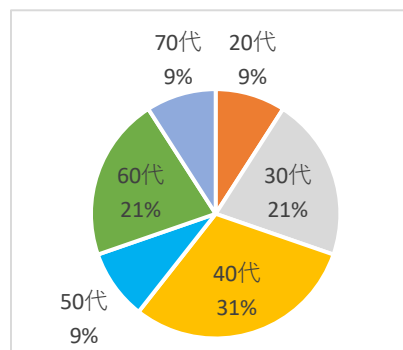
支援区分

	6	5	4	3	2	1	無
れいんぼう		1	4	3			
はっぴー	3	1	2	2			
今人		2	3	1			
銀河		2	1	3			
第二銀河		1	0	4			
合計	3	7	10	13			



年齢割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
れいんぼう			1			4	3
はっぴー		1	2	3	1	1	
今人		1	1	1	1	2	
銀河			1	4	1		
第二銀河		1	2	2			
合計		3	7	10	3	7	3



5 日中活動場所 ※重複通所あり

一般就労 6 名

(株)そごう・西武/損保ジャパン

三洋装備(株)/京急サービス(株)/株金原/サンデリカ町田営業所

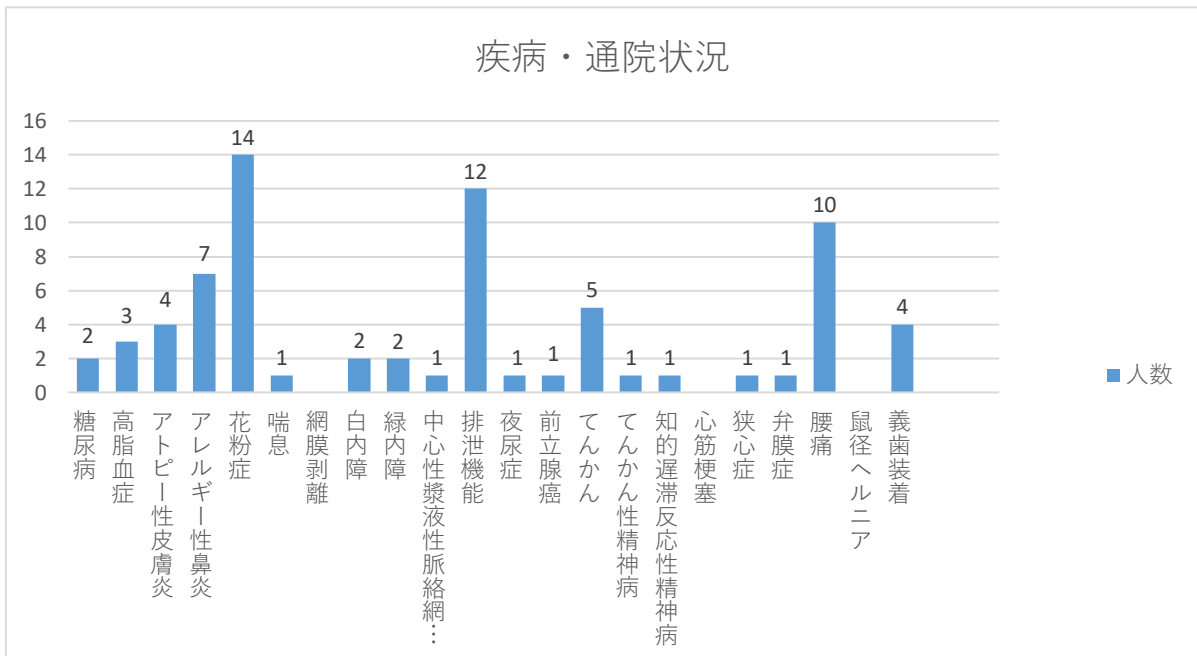
通所施設 24 名

金沢若草園、ワークショップ夢21、夢工房4番館、トレジャーボックス、ハートランド、ネバーランド、トロワランド、(株)リアン、はばたき、マーキュリー、もくもく

高齢者施設 2 名

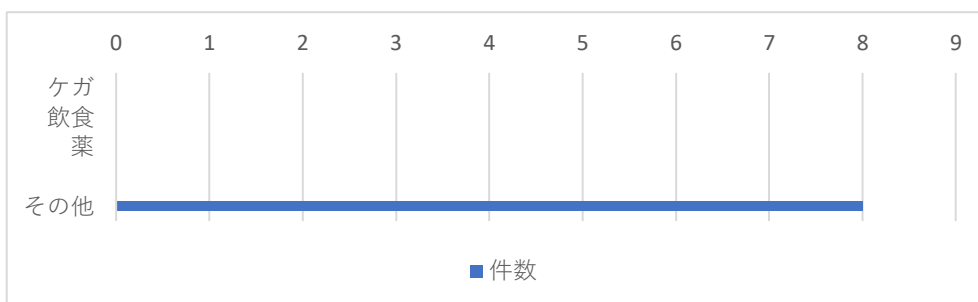
鍼灸マッサージ 憩 ミツ沢、デイサービス いこい家、ヒューマンライフライフケア

6 疾病・通院状況



ヒヤリハット報告

内容	件数	主な内容	対応・改善点
ケガ			
飲食			
薬			
その他	8	転倒（怪我なし）	転倒しやすい方の行動把握と見守り



6 職員関係

職員配置	常勤	有期	嘱託	備考
管理者	1名	名	名	
サービス管理責任者	2名	名	名	
世話人	6名	4名	名	
生活支援員	名	8名	7名	

採用	有期 職員 女性	1名
	有期 職員 男性	名
退職	有期 職員 女性	1名
	有期 職員 男性	名

研修実績 延 10名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・Web研修「サポーターズカレッジ」

・新人職員研修

・管理者研修

・中堅職員研修

III 2022年度事業計画を振り返って

- 1、新型コロナウイルス感染症という危機的環境が続く中、グループホームの役割や支援について、職員間で協議し、意見を交わしながら支援をおこなってきました。
- 2、新型コロナウイルス感染症に利用者が感染し、グループホームでの感染症対策の限界を感じつつも、職員間の連携を密にし利用者の生活の安定に努めました。
- 3、平常時より医療機関との連携が出来ていたことで、感染者が出た時にスピーディーな対応をすることができました（即日PCR検査対応など）。
- 4、介護保険の要介護認定を受け、関係機関を増やす事でサービスの向上や幅を広げられるように努め、ライフステージの移行なども含め協議をおこない、移動される利用者が3名いらっしゃいました。今後の大きな課題になると思われます。
- 5、今人移転については、移転委員会を開催し、検討・協議をおこないました。
- 6、緊急時（コロナ感染者発生など）の人員体制に若干苦勞しましたが、グループホーム職員間で協力し、継続してグループホームでの支援をおこなうことができました。
- 7、コロナ禍が続く中で、利用者の皆さんのストレス緩和に少しでも繋げられるよう、職員の協力を得て、余暇外出支援をおこなう事ができたことについて、職員の皆さんに感謝しています。

2022年ぐりーんろーど相談室事業報告（特定計画相談事業）

I 事業概況

4月～6月までは常勤1名、非常勤1名の体制で始まりましたが7月から非常勤職員2名体制となり毎月の対応に苦慮しつつ、1年間業務を遂行する事が出来ました。2名とも初めて受け持つ利用者が多い為、利用者との関係の構築を念頭に入れ支援を行っていましたが、利用者一人当たり年3～6回のモニタリング数の為、なかなか構築できるまでには至っていない方が多いのが現実です。引き続き今後も関係構築に努めていきたいと思えます。

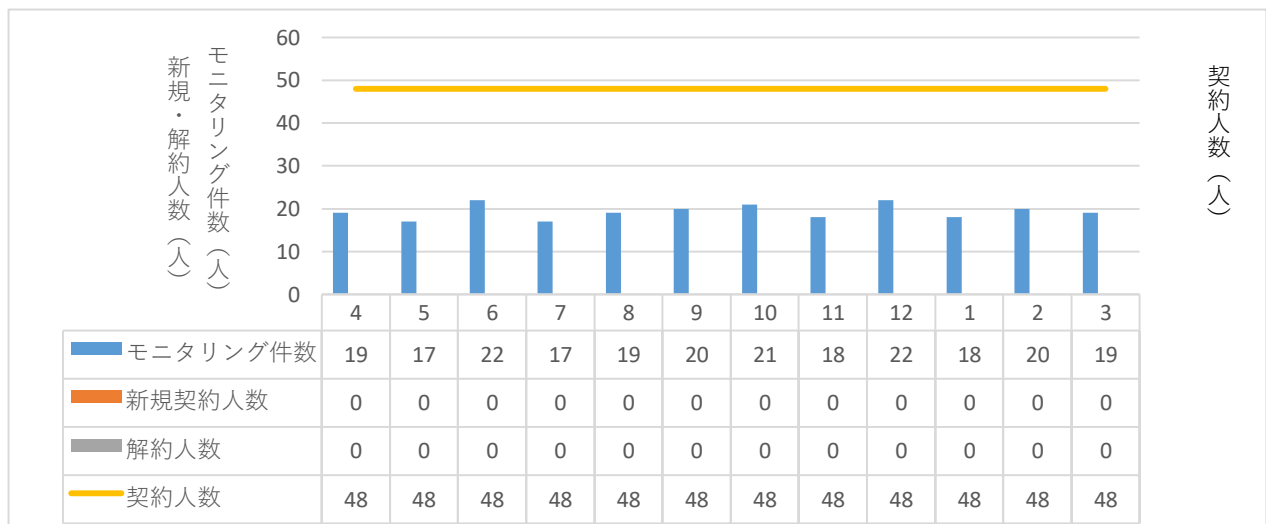
実務としては非常勤2名の為、時間的な制限があり、特に法人外の利用者対応においては遠方にある各事業所やご家庭への訪問により時間を費やす事が多く、時間の都合がつく方が対応するなど業務の時間配分を調整しながら行いました。

引き続き業務に関してはサービス利用に関する意向、障害特性や疾病、加齢に伴う本人の心身状況に併せて障害福祉サービス事業者、医療機関、介護保険事業者等との連携をはかり、一人ひとりの特性を考慮したサービス提供へと繋げる様に意識しました。

利用状況においては2022年度は増減はありませんでした。

II 事業関係 実施期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで

1 利用実績 開所日数 240 日



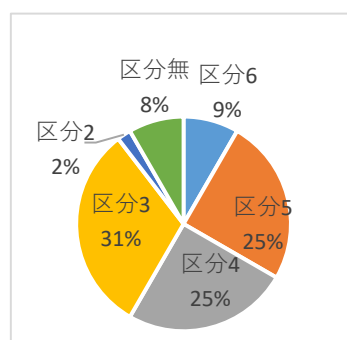
2 利用者関係 ※2023年3月31日付

契約者人数 48 名

平均年齢 41 歳

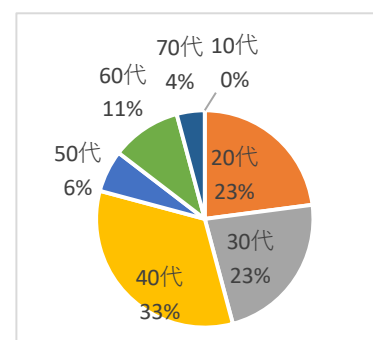
支援区分

	男性	女性	合計
区分6	2	2	4
区分5	9	3	12
区分4	11	1	12
区分3	13	2	15
区分2	1	0	1
区分無	3	1	4



年齢

10代	0
20代	11
30代	11
40代	16
50代	3
60代	5
70代	2



居住区別（援護の実施機関）内訳 合計 48 名

神奈川区	25	金沢区	3	栄区	2
保土ヶ谷区	3	南区	2	旭区	1
鶴見区	2	西区	2	泉区	1
港北区	1	緑区	1	都筑区	3
磯子区	0	港南区	1	横須賀市	1

3 職員関係

職員配置	常勤	有期	備考
管理者		1	
相談員		2	

採用 0 名

退職 1 名 有期雇用職員男性1名

異動 0 名

研修実績 延 5 名 ※一つの研修で複数の日程の際はそれぞれ集計しております

主な研修 ・相談支援従事者現任研修

・新人研修（法人）

・管理者研修（法人）

・自立支援協議会（相談部会）事例研修

・自立支援協議会（相談部会）グループワーク研修

III 2022年度事業を振り返って

- ・前年に引き続きペーパー、データとそれぞれのベースで書式を作り、事務作業の効率化を行いました。日報、経過記録はタブレットPCの活用も取り入れ行う様にしております。
- ・自立支援協議会への参画は、新型コロナウイルスの感染情勢に伴い年4回出席しました。研修や事例検討、事業所照会など事業所交流の機会となっています。
- ・研修は法人内事業所の研修、自立支援協議会の勉強会に参加しました。
- ・移動費、郵送費削減の為、移動の際は同じ方向の事業所はなるべく同日に行い、その都度郵送する書類も手渡しするなどしました。
- ・利用者の希望による移管手続きのサポートやアフターフォローとして関係機関と連絡を取り、情報共有、引継ぎ等のサポートを行いました。